

4月から始まる 自転車の「青切符」制度とは?

自転車文化センター サイクルアドバイザー 山口文知^{みづもと}さん



車道が危険な時は歩道の徐行を。6歳未満の幼児2人までは合法です (写真は本文とは関係ありません)

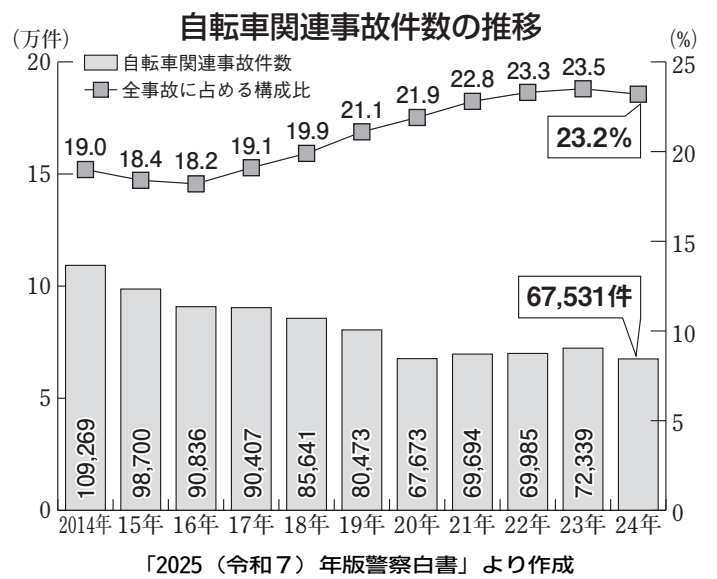
2026年4月から導入される「自転車の「青切符」制度。制度がどう変わるのか、自転車文化センターの山口文知^{みづもと}さんに聞きました。

自転車の事故を減らすために

これまで指導・警告が中心だった自転車の交通違反行為に対し、「交通反則通告制度」として反則金の支払いを命じます。「青切符」制度が導入されます。

ルールを確認し安全運転を

取り締まりの対象は、信号無視、一時不停止、ながらスマホなど113種類(左上)。対象年齢は原付免許が取得できる16歳以上で、反則金の金額も原付とほぼ一緒です。飲酒運転など悪質な違反は引き続き「赤切符(刑事罰)」です。導入の理由は、減らない自転車関連事故です。交通事故全体が減少傾向にあるのに対し、自転車に関する事故の割合はほぼ横ばいで増えています(グラフ下)。原因は、一時不停止や信号無視など自転車側の違反が約8割です。



自転車への交通反則通告制度 (青切符) 主な違反行為と反則金

- ながら運転 (スマホでの通話など) 1万2000円
- 遮断機の降りた踏切立ち入り 7000円
- 信号無視・歩道通行・逆走・無灯火・傘さし運転など 6000円
- 2人乗り・並走など 3000円



上記含む113の違反の詳細は→ <https://x.gd/arh0M>

自転車安全利用五則

- 1、車道が原則、左側を通行。歩道は例外、歩行者優先
- 2、交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- 3、夜間はライトを点灯
- 4、飲酒運転は禁止
- 5、ヘルメットを着用



交通ルール→<https://x.gd/jVDT8>

自転車は乗れるようになれば誰が乗ってもいい、気軽に便利な乗り物です。しかし「軽車両」としての交通ルールや道路標識などは、自分で調べて知る必要があります。

自転車は道路交差点上「軽車両」であり、車道の左側を通行するのが原則です。例外として歩道通行ができるのは、「自転車歩道通行可」の標識のある歩道。「運転者が13歳未満・70歳以上・身体の不自由な方」、「車道通行が危険な場合(工事中、幅が狭く自動車の交通量が多いなど)」です。歩道通行の際は、歩行者を優先して車道寄りを行っていただきます。

青切符制度の導入を機に「自転車も車の仲間」という意識を強め、今一度、自転車の交通ルール(左下)を確認し、安全運転を徹底しましょう。乗る前には、ブレーキやライトの点検を忘れずに行ってください。

生きる力を育てる家庭科



「野の草を食べる会」で、毎年新婦人日田支部に開催。右端が諫元さん

で、昔の人の知恵に学び旧家の間取りに暗く狭いお産部屋や使用人の便所と人を差別してきた痕跡が残る住居の調査をグループ発表で学ぶ実践も。教員の子の同窓会でも、今でも役立つことは多く、喜ばれています。第23次日教組教員集会(山形)では、その実践を奈良教育大の田中恒子教授(当時)が教科教育法の講義に使いたいと言われ、役立ててもらいました。うごんの教材、こんにやく、豆腐等も自主編成の教材を作成、日田市のホテルで行われた家庭科教育者連盟全国交流会で、郷土食「たらのさ」(タラの乾物)の試食会も行いました。「諫元は教科書を教えない」の攻撃もありましたが、生徒や父母の応援で楽しい教師生活でした。

母の歴史

大分県 諫元正枝^{いさもと}さんのお話 (7)

3078

大学卒業後、1958年に日田市立東洋中学校の家庭科教師に就任して以来、5校29年間に及んだ教師生活。1966年に創設された、民主的な家庭科教師の集団、家庭科教育研究者連盟に加盟し、「生きる力を男女共に育てる家庭科」をめざしました。郷土食の掘り起こし、「そば料理」を生徒とともに調査。飢饉の時も年貢のとりたてがひどく、生きるために作付け面積に入らない「そば」を食べて生き延びた話を老人から聞いて、そばの食べ方を教えてもらうなど、教科書にないものも自主編成してきました。

住居学では、住まいのフィールドワーク

女性のひろば

1月号発売中

平和・くらしの要求で希望を拓こう

田村智子

【発言集】高市新政権に思う

【対談】ソーラーシェアで描く希望の未来 近藤恵/いわぶち友

【読者の手記】編み物、大好き!

ガザを生きる 刺繍とデザイン 昭和のくらし博物館だより 北村記世実 小林こずえ

手ぬいで作るリメイク小物 高橋恵美子

腸を育むごはん 押し麦入りハンバーグ

日本共産党中央委員会出版局 ☎03-3470-9636 〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7 (定価316円(税別))

平塚らいてうが今、新しい

パンフレット

「平塚らいてうからのメッセージ」 頒価 300円 A5判 80ページ 発行 新日本婦人の会

「平塚らいてう・女性運動資料室」 東京都文京区/ 開館: 第2・第4火曜日 14:00~16:00/ 申込: 1週間前までにメール njwa@shinfujin.gr.jp か FAX 03(3814)9441で/ 氏名、人数、所属、電話を明記

オンライン企画のご案内

憲法80年 軍拡・改憲を許さず 平和な世界と日本へ 「建国記念の日」反対

2.11集会

日時:2月11日(水) 13時20分~講演・リレートーク

- 参加費 700円
- Zoom(ウェブ)参加希望者は、jimukyoku3@kenpoukaigi.gr.jpへ、2月5日までに件名「2.11参加」、本文に住所・名前を明記して申し込みを。

主催: 2.11連絡会

原発をなくす全国連絡会 学習会

「ふくしまの今」

日時:2月18日(水) 18時~19時

講師:伊東 達也さん (原発問題住民全国センター代表委員)

Zoom ID:839 4912 3912

パスコード:nonukes

<https://x.gd/3ldaS>

問い合わせ 03-5842-6451 no-nukes@min-iren.gr.jp

主催:原発をなくす全国連絡会